

国道49号 好間三和地区防災技術検討会
設立趣意書

国道49号はいわき市を起点として、郡山市を経て新潟市に至る道路であり、磐越自動車道の代替道路として機能し、地域の生活や産業・経済活動を支えている重要な幹線道路である。

いわき市好間三和地区は、大雨時に土砂災害が頻発する等、脆弱な地質であることから、連続雨量200mmで事前通行規制を行っており、令和5年9月の県内初の線状降水帯による大雨では約9時間の通行止めが発生し、並行する磐越自動車道も同時に通行止めになる等、道路の防災機能を強化することが必要な状況である。

このことから好間三和地区の防災機能向上により、磐越自動車道と一体となって災害に強い道路ネットワークを構築する対策案の妥当性と対策案実施における課題について技術的検討を行うことを目的に、有識者や専門家による委員会を設立するものである。